

児童向け電子図書館の動向と課題

05L4241 川合 佑果

1. 電子図書館と電子書籍

- (1) 電子図書館とは二つの意味で用いられており、所蔵資料を電子化した図書館、または電子書籍を収集し提供するサービスであり、主に後者の意味で用いられることが多い。
- (2) 電子書籍はデジタル化された書籍のことであり、パソコンや携帯電話や携帯情報端末で読むことができる。

2. 電子化と提供の方法

2.1 電子化の方法

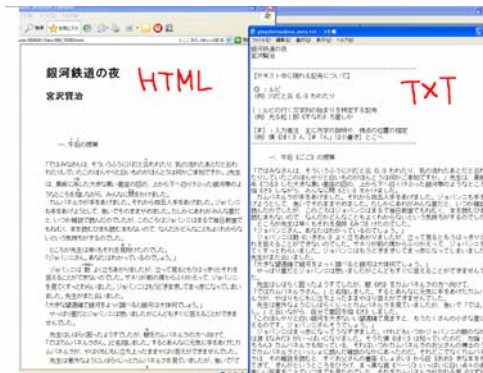
- (1) 冊子体からの電子化: スキャンして、画像データを作成する。多くは PDF にして提供する。
- (2) 版下データの利用: 印刷用のデジタルデータを直接利用する。PDF を作成する場合もある。XML を作成して HTML で提供する場合もある。
- (3) マルチメディアコンテンツ: FLASH などのツールを使って直接コンテンツを作成する

2.2 提供の方法

- (1) HTML
- (2) PDF
- (3) FLASH
- (4) 専用閲覧ソフトウェア
- (5) 携帯・モバイル

3. 児童向け電子図書館

(1) 青空文庫



(2) 絵本ギャラリー



(3) 児童書デジタル・ライブラリー



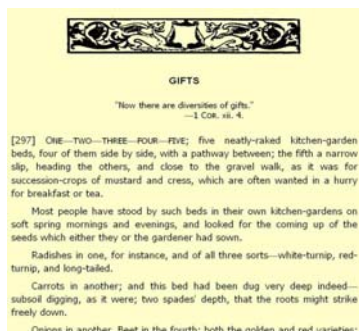
(4) カバヤ児童文庫



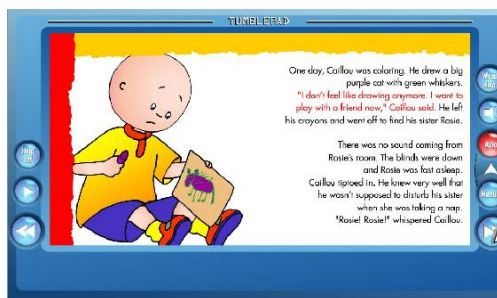
(5) International Children's Digital Library (ICDL)



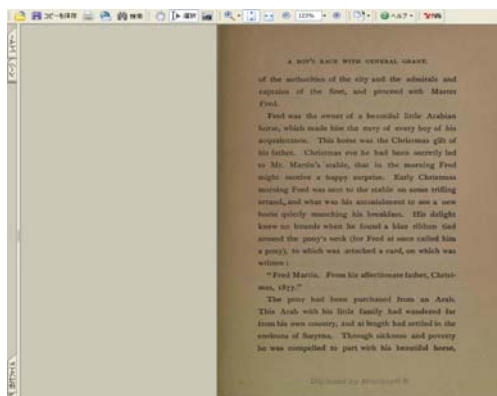
(6) The Baldwin Online Children's Literature Project



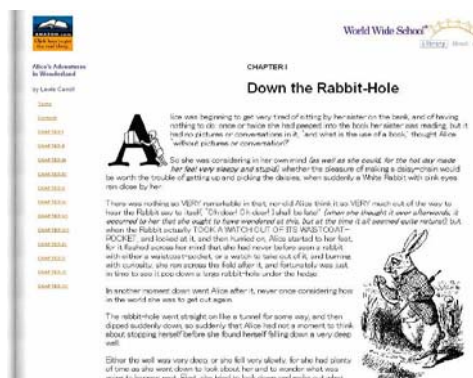
(7) TumbleBook Library



(8) Children's Library



(9) World wide school library



3. おわりに

日本での電子書籍の普及の遅れの原因として、(1)利用者の読書環境の普及と利用習慣の遅れ、(2)著作権の問題、(3)製作技術とコストの問題、などが挙げられる。